郡山市で第77回東北経営者大会開催される

意見交換テーマ
『人口減少下における働き手の確保・定着に向けた取り組み』

◎ 次回の第78回大会は秋田市で開催される！

第77回東北経営者大会が10月 10日(金)、郡山市のホテルハマツで開催された。

大会は、東北経営者協会・福島県経営者協会連合会が主催、経団連が後援し、東北6県から400 名を超える企業トップが集結。秋田県経営者協会からは新谷明弘会長はじめ 26 人が参加した。

はじめに福島県経営者協会連合会の小野利廣会長が開会の辞を述べた後、主催者を代表して東北経営者協会の増子次郎会長が挨拶を行い、「深刻な問題である労働力不足を解消するためには、東北が一丸となって稼ぐ力の向上、やりがい、働きがいを実感できる職場づくりに取り組む必要がある」と挨拶した。その後に来賓を代表して内堀雅雄福島県知事が祝辞を述べた。

元県立博物館所長
赤坂憲雄氏

続いて、福島県立博物館元所長で民俗学者でもある赤坂憲雄氏から「ミュージアムという可能性」について講演いただいた。氏は、世界的に注目を浴びた地域を丸ごとミュージアムと捉える「奥会津ミュージアム」事業などを紹介し、地域活動の重要性を述べられた。

午後からは「人口減少下における働き手の確保・定着に向けた取り組み」をテーマに、意見交換が行われた。

はじめに秋田経協の秋田製錬㈱総務部課長の三浦　隆宏氏が、「採用・育成・定着のつながり～労働生産性の追求によるエンゲージメント向上～」について発表した。過去に多数の離職者を出した経験から、①会社の良い面だけでなく悪い面も理解を得た上でのホンネ採用、②社員自らの意見を取り入れた生産性向上を図るための人材育成、③それによるエンゲージメント向上からの人材定着、という取り組みにより採用・育成・定着の好循環が生まれて離職率

秋田製錬株式会社
三浦隆宏　氏

が大幅に低下し、「グッドキャリア企業アワード 2017」において東北で2例目となるイノベーション賞を受賞した旨の報告を行った。これに対して青森経協の青森　トヨタ自動車㈱常務取締役総務部長の坂本武氏が、Z世代のような現代若者気質を意識したエンゲージメント向上への取り組みについて質問し、三浦氏は「〇〇世代」あるいは「〇〇界隈」であっても、最後は一人ひとりの話をどれだけ覚悟を持って聴いてあげることができるかが重要と考えている、と述べられた。

次に、宮城経協の㈱ユアテック人材部長の小野幸治氏が「次代を創る人材への投資～ユアテック人材戦略の策定～」について、人材戦略プロジェクトを立ち上げ、若手社員や現場で働く社員の働きがいと働きやすい環境の構築を最重要テーマに掲げた自社の取り組み等を発表した。これに対し山形経協の㈱山形銀行人事総務部長の小林洋介氏が、定年延長や従業員エンゲージメント向上策について質問を行い、小野氏は、シニア層に求めたい業務として5つの働き方コースを準備したこと、若手社員が自らの成長を実感できる資格取得や昇給基準の数値化した取り組みなどを説明した。

最後に宮城経協の藤崎副会長と青森経協の七尾会長が総括コメントを行い、締め括った。

続いて、コスト削減や付加価値の増大により企業の「稼ぐ力」を　高めるとともに、若者を惹きつける魅力ある雇用創出に一体で取り組むこと、すべての働き手が、「やりがい」「働きがい」を感じながら生き生きと働けるよう、自社の存在意義の共有、個性・価値観の尊重などに全力で取り組むとする大会決議を採択した。（採択された決議文は次ページに掲載）

東京海上日動火災
保険（株）相談役
永野毅氏

その後に、東京海上日動火災保険（株）相談役、（一社）日本経済団体連合会副会長の永野毅氏が「To　Be　a Good　Company」と題して特別講演を行った。氏は、厳しい環境変化に直面する日本だが、「和を以て貴しとなす」とする伝統に基づいて、共創と協調をもった経営によるこれからの発展に期待したいと述べられた。

大会終了後に懇親パーティーが開催され、参加者は交流を深めあった。次回の第78回東北経営者大会は、来年10月に秋田市で開催される。

決　　議　（案）

成長型経済の実現に向け、企業には、生産性向上を通じて継続的に賃金引上げの原資を確保し、「成長と分配の好循環」を加速させることが求められている。

また、東北地方は、人口減少・人口流出により深刻な労働力不足が続いているが、このような中でも企業が成長していくためには、働き手がその能力・スキルを最大限に発揮できるよう、「やりがい」「働きがい」を高めることが重要である。

こうした状況のもと、本日、郡山市で開催する第７７回東北経営者大会において、我々東北の経営者は、次のことを決意する。

１．　業務プロセスや生産工程の効率化によるコスト削減に加え、製品・サービスの差別化による付加価値の増大により、企業の「稼ぐ力」を高めるとともに、若者を惹きつける魅力ある雇用の創出に、東北各県の経営者協会が一体となって取り組む。

２．　すべての働き手が、「やりがい」「働きがい」を感じながら生き生きと働けるよう、自社の存在意義の共有、個性・価値観の尊重、信頼関係の構築、適正な評価と処遇、成長の支援などに全力で取り組む。

また、次の諸点については、政府および関係機関に対し、実効ある取り組みを強く要請する。

１．　継続的な賃金引上げに向け、生産性向上への支援や、適正な価格転嫁の促進に向けた環境整備を強化するとともに、税と社会保険料等に関わる企業負担の軽減について早急に検討・実施すること。

２．　「人への投資」を促進するため、賃金引上げに加え、総合的な処遇改善や人材育成に積極的に取り組む企業への支援を強化すること。

３．　「地方創生 2.0」を推進し、「付加価値創出型の新しい地方経済の創生」「人や企業の地方分散」等を確実に実現すること。

４．　東北の「稼ぐ力」を高め持続的な産業振興を図るため、国際リニアコライダー（ＩＬＣ）や福島イノベーションコースト構想などの科学技術プロジェクトを実現・推進するとともに、先端技術を活かした産業創出を支援すること。

５．　「東北は一つ」の理念のもと、地域間格差の解消と広域連携の促進に向け、格子状骨格道路ネットワークの早期実現など、交通ネットワークの整備・強化を図ること。

以　上

２０２５年１０月１０日

第７７回 東北経営者大会